

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

三谷、丸尾、田中（ま）、宮島、旅田、千賀

2. 山城／ルート

湖北・石田川・間谷（あいだに）

3. 交通手段

車

4. 行動記録

<入山日 2014年6月29日、下山日 同左>

■2014年6月29日（日）

神戸三ノ宮発 6:00---名神高速（吹田 SA 7:00）---湖西道路…石田川ダム…三重岳登山口駐車 9:00---間谷（橋）出合入溪 10:00---410mp 最初の二俣 10:50---460mp の二俣 11:20---525mp3m滝（残置ハーケン）休憩 12:00~12:30---丸太橋の滝 12:40---8m滝高巻 13:10---850m二俣より稜線 14:45---草付---三重岳山頂 15:15~15:50---南東の稜線…三重岳登山口 17:10---朽木温泉「てんくう」18:00~19:00…湖西道路…名神（吹田 SA 夕食解散）…帰神 21:40（行動時間7時間10分）

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

1名寝坊で出遅れる。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

① 薄い板状節理の4m滝で3名が指に切り傷を負った。医療担当のTさんが治療。山行に影響なし。

→手袋は指先までのものが良い。持つときには引っ張らずに上から抑えるように。最初に切り傷を負った者が後続に注意する。

② 3mの滝口に残置ハーケンがあり、お助け紐の支点到に利用したが、テンションがかかるうちに緩んできた。（最後は抜いて回収した。）

→残置ハーケンを利用する場合の注意点（Mさんより）

ハンマーで残置ハーケンを叩いてチェック。不安定であれば打ち直したり、新たに打ち直す。リス内で腐食又は冬季に氷結して緩んでいるかも。ゲレンデの岩場も同様。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

上記b)のとおり。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- ・石田川ダムは、ロックフィルダムで洪水調節と不特定利水を目的とする治水ダム。周辺は、芝生等整備されトイレもある。ただし、東屋はロープで囲われ使用禁止の標識が付いていた。
- ・湖北・石田川・間谷（あいだに）は、お助け紐は必要だが、8m滝が最大で小さい滝はだいたい直登できる。巻道もある。（ロープは使用しなかった。）
- ・今回、Mさんの提案で遡行図を利用せず地形図のみで遡行した。地形図と現地を見比べて現在地を特定するのも楽しい。
- ・間谷も含め三重岳周辺は、毛虫が異常発生していた。山頂から稜線に下山中にも広葉樹の幹に毛虫がいっぱい巻き付いていた。

新緑の美しい時期であるが、部分的に尾根の木は落葉した木のように見えた。

次週の7月6日（日）予定していた西隣の沢（八王子谷～一の谷～三重岳）は、急きょ鈴鹿の沢に変更することにした。西隣の沢は、前夜泊で毛虫のいない時期に行ってみたい。

報告者氏名 三谷

2014年7月5日





三重獄山頂にて